

一般社団法人 日本計量生物学会
2022 年度事業報告（第 7 期）
2022 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日

会長 松井茂之
庶務理事 寒水孝司, 高橋邦彦

1. 学会の動向

日本計量生物学会は、16 名の理事（2022 年 1 月 1 日時点）、2 名の監事、各種委員会の運営により、2022 年度の活動を終えた。2022 年 12 月 31 日現在の会員の数は 852 名である（国内正会員 471、国内名誉会員 2、国際正会員 283、国際名誉会員 5、学生会員 82、賛助会員 9）。

2. 出版編纂事業

(1) 計量生物学の発行

42 巻 2 号（原著 1、研究速報 1）（1 月）、43 巻 1 号（40 周年記念総説 4）（12 月）を発行した。

(2) 会報の発行

138 号（2 月）、139 号（7 月）、140 号（12 月）を発行した。

3. 内外学界交流事業

次の大会、セミナー、講演会を開催した。

(1) 年次大会

日程：5 月 13 日（金）、14 日（土）

開催形式：ハイブリッド開催（現地・Zoom）

現地会場：東京理科大学 葛飾キャンパス 図書館大ホール

チュートリアルセミナー「スパース推定の最新の展開」

特別講演「2021 年度学会賞受賞者講演」

特別セッション「機械学習への招待（2）画像・自然言語・生体データの深層学習と
医薬領域への応用」

参加者 331 名

(2) WNAR（北米・カナダ西海岸リージョン）年会（共催）

日程：6 月 10 日（金）～15 日（水）

開催形式：オンライン

招待セッション「Bayesian Clinical Trial Designs and Analyses」

(3) 統計関連学会連合大会

日程：9月4日（日）～8日（木）（4日はチュートリアルセッションと市民講演会）

開催形式：ハイブリッド開催（現地・Zoom）

現地会場：成蹊大学 3号館, 5号館, 8号館, 9号館

日本計量生物学会奨励賞受賞者講演

日本計量生物学会40周年記念シンポジウム：「計量生物学の発展と今後の展開」

参加者総数 延べ1,405名

（チュートリアルセッション参加者数271名, 市民講演会参加者166名, 大会参加者数968名）

(4) 計量生物セミナー

日程：12月8日（木）, 9日（金）

開催形式：ハイブリッド開催（現地・Zoom）

現地会場：中央大学 後楽園キャンパス5号館

テーマ：生存時間解析

参加者344名

(5) 計量生物学講演会

日程：12月9日（金）

開催形式：現地開催（中央大学 後楽園キャンパス5号館）

テーマ：生存時間に対する治療効果の定量化問題におけるモデルに依存しない方法の開発と普及

講師：宇野 一（Dana-Farber Cancer Institute / Harvard Medical School）

参加者111名

4. 会員関係事業

(1) 賞の授与

次の賞を授与した。

学会賞 森田 智視（京都大学大学院）

功労賞 丹後 俊郎（医学統計学研究センター）, 山岡 和枝（帝京大学大学院 / 鉄祐会）

奨励賞 菅澤 翔之助（東京大学）

(2) 理事会

対面（Web）理事会（2月21日, 3月25日, 5月11日, 8月31日, 12月5日）とメール理事会（1回）を開催した。

(3) 社員総会

対面（Web）社員総会（3月25日）を開催した。

(4) 会員総会

日程：5月14日（土）

開催形式：ハイブリッド開催（現地・Zoom）

現地会場：東京理科大学 葛飾キャンパス 図書館大ホール

(5) 各種委員会

各種委員会（編集，広報，企画，試験統計家認定）を適宜開催した。

5. 試験統計家認定制度

2021年度責任・実務試験統計家 認定通知・証書授与，公表を行い，2022年度責任・実務試験統計家認定制度を開始した。試験統計家認定制度講習会（10月29日，12月17日（オンライン））を開催した。

6. 国際計量生物学会日本支部としての活動

国際計量生物学会の会報（Biometric Bulletin）にて日本支部の活動を報告した。

7. その他

(1) 社員（評議員）選挙，代表理事候補者，理事候補者を選出した。

(2) 会費長期滞納者への対応を行った。

(3) 第32回 日本疫学会学術総会・日本疫学会プレセミナー2022「いま改めて「欠測データ」の解析について考える」（1月26日（水）ハイブリッド開催）を共催した。

以上